

浅草お祭りミュージアム
バーチャルコンテンツ開
発

学籍番号 21011341 持田翔太

彩藤ゼミが取り組んでいること

- 地域活性化のためのバーチャルコンテンツを使用した問題解決に取り組んでいる。
- 今回はAR(拡張現実)という技術を使いお祭りミュージアムの問題解決に取り組む。

ARとは

- AR (拡張現実) Augmented Realityとはマーカ―をアプリケーション内のカメラで読み込むことにより3DCGを現実の空間に表示しあたかもカメラを通してその物体が存在するかのように見せる技術
- 今回はJunaioというアプリケーションを使用しARを表示する。
- このアプリケーションの特徴としてあらかじめサーバーにマーカ―や3DCGなどのデータをアップロードしておき呼び出すことで通常データが携帯電話などのデバイスに入っていないと使えないはずのARを使うことができる点にある。またサーバーにアップロードしておく形式なのでいつでもアプリケーションにデータを追加したり変更したりが可能になる。

お祭りミュージアムとは

浅草の浅草寺近くにある浅草のお祭りの文化を展示しているミュージアム

問題点

建物が小さく展示スペースがあまりない

浅草三社祭や浅草寺は有名だがその文化を紹介しているお祭りミュージアムはメジャーではないしお祭り文化について地元の人以外はあまり知らない

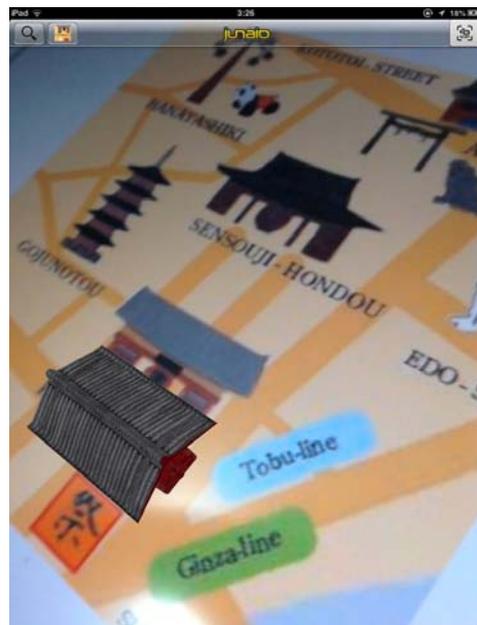
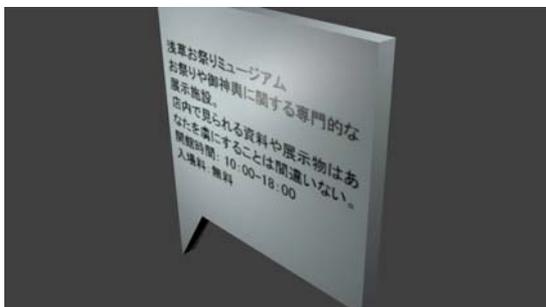
そこでスペースに頼らず浅草のお祭り文化やお祭りミュージアムをメジャーにできるようなプロジェクトが欲しい

また外国人に説明できるようなコンテンツが欲しい

浅草ARマップ

- 浅草の有名な建物を表示したマップ
- 浅草寺、浅草花やしきなど有名な建物とお祭りミュージアムを表示することでお祭りミュージアムの位置がわかる立体の地図になる
- その建物の情報をARで表示するまた回転させることで外国語で建物の情報を閲覧できる。

アプリの様子



ご清聴ありがとうございました。



こちらからダウンロードできます

● <http://cat.tama.ac.jp/asakusa/>